

会場名	サブリーダー	
	役職	氏名
大阪国際会議場 12階1202号室	次年度地区職業奉仕委員長	山崎 修一
リーダー 役職・氏名		
パストガバナー 泉 博朗		
議事録作成者	北野 了考 (大阪西南 RC)	

開会：(15時05分) 司会：上甲悌二
発表者：泉博朗
<p>【記録内容】</p> <p>◆開会挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業奉仕はロータリーに特有の考え方 ・職業は奉仕の機会の一つ ・最も職業で奉仕する者が、最もよく報われる ・各職業の専門性を生かす ・会員の職業奉仕の心を育てるのが職業奉仕委員の役割
発表者：山崎修一 (15時20分)
<p>【記録内容】</p> <p>◆2019-20 年度活動方針等</p> <p>1. 方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各クラブの委員長に「職業奉仕」に関する理解（歴史、変遷、変化、及び 2660 地区における考え方）を深めて頂くと共に、委員長自ら、卓話、フォーラム等の活動を実践するのを支援する <p>2. 主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長自ら卓話を実践するツールとなる「職業奉仕 卓話モデル」を作成する ・職場体験、出前授業等を実践するツールとなる「職業奉仕活動 実践の手引き」を作成する ・支援が必要なクラブには、個別支援を行う
発表者：山崎修一 (15時30分)
<p>【記録内容】</p> <p>◆職業奉仕の考え方と人づくり（4大用語の奥の奥にある「甲斐」「情」「志」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業奉仕は「ロータリーの樹」の幹の部分、「人づくり」は米山梅吉氏の言葉 <p>1. 人づくりの原点①「甲斐」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やりがい、生きがい、働きがい、その根底には職業、家庭、健康 ・目標や目的に向かって継続努力するうちに得られる充足感 ・周りの人たちに認めてもらう、喜んでもらう（感謝、感動）

2. 人づくりの原点②「情」

- ・他人に対する思いやり、相手の立場にたって考える（超我の奉仕、stand by you）
- ・他人の目で自分をしっかりチェックする（4つのテスト）
- ・情けは人のためならず（最もよく奉仕する者、最もよく報われる）

3. 人づくりの原点③「志」

- ・所属する組織は成長の舞台である
- ・自分の力で変化していく
- ・仕事から選ばれるようにする（天職）
- ・多様性や独自性（らしさ）を育成する
- ・報酬は成長への投資原資にする

発表者：西辻豪人

（16時00分）

【内容】

◆職業奉仕委員長が理解すべき4大用語①

- ・ロータリーの職業奉仕入門（Q&A）2018.5.8改訂版の活用
- ・「ロータリーの樹」はロータリーの活動概念を視覚的に理解できるようにしたもの
- ・「超我の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」は三方よし（近江商人）の精神にも現れている、企業の社会的責任にも親和的
- ・職業上、高い倫理基準を持つこと、地域社会や取り巻く人たちのニーズに応える心を持つこと、利他の考えの下、世の中を良くするという精神を持つことが重要

発表者：澤田宗久

（16時15分）

【内容】

◆職業奉仕委員長が理解すべき4大用語②

- ・「4つのテスト」成立の物語について（クラブ・アルミニウム社のハーバード・テラー）
- ・ロータリアンは行動規範たる「4つのテスト」を忠実に実行すべき
- ・「内なる人づくりと外なる人づくり」、前者の場として新人研修や各種フォーラム、後者の場として出前授業や職場体験学習等
- ・人づくりは自分づくりを支援する場でもある
- ・「4つのテスト」を遵守しつつ、有言実行（行動力）及び継続した実践成就を実現することが、人類愛、世界平和にもつながる

発表者：寺田幸司

（16時35分）

【内容】

◆クラブ職業奉仕委員長会議の案内

- ・ 2019年8月24日10:00～12:00の予定
- ・ 各委員長に対する支援内容（「卓話モデル」、「実践の手引き」）の説明、各委員長より事前に提出された計画書を基に発表、議論をする予定

閉会（16時50分）

備考・メモ

4月26日（金）までにガバナー事務所宛てにお送りください。

返信先：ガバナー事務所 E-mail：funahashi@ri2660.gr.jp